

「第 11 回北海道 MIST 研究会」報告

社会医療法人 松田整形外科記念病院 寺島嘉紀

令和 6 年 10 月 5 日に札幌市で第 11 回北海道 MIST 研究会を開催いたしました。今回から研究会自体の共催スポンサーがなくなったため、基本的な準備等も世話人が行うことになりました。例年と同程度の 30 名の参加をいただき、一般演題の 5 演題、特別講演の 2 講演のそれぞれで多くの質問が出されると共に活発な discussion が行われ、大変有意義な会となりました。

特別講演 1 では久留米大学の横須賀公章先生に「経仙骨的脊柱管形成術(TSCP)」について、これまでの開発の経緯と手技のポイントをご説明いただき、さらに Advanced TSCP への発展と今後の展望に関してもお話いただきました。また特別講演 2 では北九州市立医療センターの吉兼浩一先生に「脊椎内視鏡下手術の進歩—低侵襲性と安全性の両立を追求する」について、豊富なご経験を基にこれまでの内視鏡手術の発展や具体的な手術のピットフォールを多くの動画を用いて解説いただきました。世の中に新しい技術が普及する前には、先人の御苦勞や工夫があります。お二人のご講演から多くを学ばせていただきました。

北海道 MIST では世話人 50 歳定年制を設けており今回で私は退任いたします。これから今年度代表世話人になった長濱賢先生を中心に、北海道には医育大学は 3 つしかありませんが、若手 Dr への裾野をさらに広げつつ北海道 MIST が発展できればと思います。

第 12 回は令和 7 年 9 月 27 日に函館市で開催される予定です。当番世話人は河野通快先生で中四国 MIST 研究会との合同開催となる予定です。みなさまぜひご参加下さい。



写真前列左から 藤本新世話人,森田新世話人,猪川前世話人,吉兼先生,筆者,横須賀先生,長濱代表世話人,山田世話人,河野新世話人(後列左から 5 人目)